



舞と琵琶

灯りの消えぬ町で

そつと咲いた一輪の華



令和7年11月1日(土)

【開場】13:30 【開演】14:00 【観覧料】6,000円 全自由席

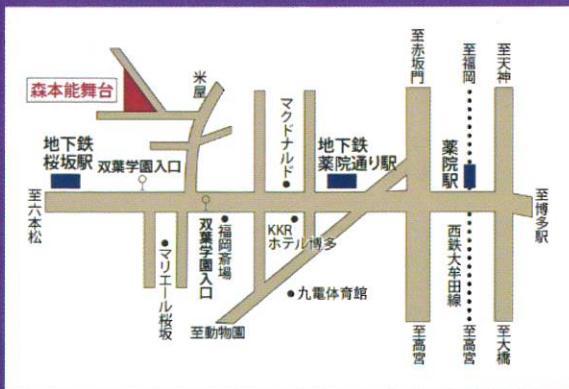
森本能舞台

福岡市中央区警固3丁目8-1

主催:香扇会(こうせんかい)

後援:福岡市、(公財)福岡市文化芸術振興財団

協力：選擇寺



舞と琵琶

選
擇
寺
と
博
多
の
女

主な演目

- | | |
|------|----------------------|
| 一、琵琶 | 壇ノ浦 |
| 二、地歌 | 茶音頭 |
| 三、地歌 | 黒髪 |
| 四、琵琶 | 月下紫陽
(雪友 追悼創作琵琶曲) |
| 五、地歌 | ゆかりの月 |

地歌舞や選択寺についての座談を交えながら
観覧をお楽しみ下さい

～公演までの歩～

近松門左衛門のゆかりを辿るなか、私たちは、遊女・雪友と選択寺にたどり着きました。580人の遊女の檀那寺でもある寺で、唯一名の残る遊女・雪友の命日に営まれていた「紫陽花忌」は、時の流れとともに途絶えておりましたが、今年、新たなご住職を迎えて、公演と共にその灯がふたたびともされようとしております。雪友を偲び、博多の町を静かに支えた女性たちの面影を、舞と音にのせて捧げるこの日——この公演は、雪友への追慕と、女性たちへの静かな讃歌でございます。



選択寺本堂



雪友 博多人形

【出演者略歴】



山村 昇香

日本舞踊家
山村流愛ふみ派 師範
香扇会（こうせんかい）会主 師範歴28年
江戸時代から続く北山村の地歌舞の流れを色濃く継承
1980年 山村流愛ふみ派二代目家元 山村昇の元に入門
1986年～2010年 大阪新歌舞伎座・京都南座・大阪国立文楽劇場・大阪松竹座・福岡大瀬能楽堂など数多くの舞台に出演
2010年 香扇会を設立し会主となる
2010年 大瀬能楽堂「松づくし」「夕顔」「雪」出演
2010年 コンテボラリーダンスの書 乗越たかお著
ダンスバイブルの日本舞踊部門の挿絵と資料を飾る
2023年 庭の鶯にて「香扇会」
2024年 鷹の会能舞台「舞と琵琶」

伝統と現代をつなぐ時の舞人



尾方 蝶嘉

筑前琵琶奏者
筑前琵琶嘉の会主宰、日本琵琶楽協会会員
13才、琵琶に出会う。筑前琵琶保存会会主
嶺旭蝶、青山旭子に師事
現代邦楽を田原順子に師事
西南学院大学法学部卒
第26回くまもと全国邦楽コンクール優秀賞
第57回日本琵琶楽コンクール優勝
文部科学大臣賞、NHK会長賞ほか受賞
海外アーティストとの共演、子ども達への琵琶指導などにも取り組む
目標とする舞台・表現は「深い人間的な共感」



山本 裕子

九州系地歌箏曲家
下関市在住。九州系地歌箏曲家 衛藤照子を祖母に持つ。
6歳より箏、18歳より母柳瀬和子の手解きで三絃を始める。
1996年から2007年まで稀代の箏曲家赤木三晃に弾・
三絃を師事。公演ほか学校への体験授業、懇問演奏などの
地域行事や、海外公演（ルーマニア、韓国）に参加し、日本の文化、
伝統音楽普及活動に尽力。
2005年、2011年 琴古流尺八 荒木竹翁・柳瀬和子と新星三姉妹
CD I・II発刊。
2025年 柳瀬和子「甦る古典の響き」～三姉妹とともに～CDリリース。
下関短期大学付属高等学校箏曲指導員。
2018年下関市芸術文化振興奨励賞受賞。
(公社)日本三曲協会会員、下関邦楽協会役員、絃照会副会長。



望月 雅子

九州系地歌箏曲家
下関市在住。九州系地歌箏曲家 衛藤照子を祖母に持つ。
6歳より箏、16歳より母柳瀬和子の手解きで三絃を始める。
1994年東京銀メダル 藤井泰和師の元で内弟子修業、
帰郷後、赤木三晃に師事。
2019年、2021年藤本昭子東京紀尾井ホール地歌ライブに
ゲスト出演。
同年日洪外交関係開設150周年記念事業
「ハンガリー地歌公演2019」に参加出演。
学校への体験授業や懇問演奏などの地域行事に参加し、
日本の文化、伝統音楽普及活動に尽力。
(公社)日本三曲協会会員、下関市文化協会役員、絃照会副会長。

【舞と琵琶お申込み方法】

ステップ① | QRコードを読み取る

お手持ちのスマホで右のQRコードを読み取り、申込フォームにアクセスしてください



ステップ② | フォームに入力する

お名前・人数・ご連絡先など、必要事項をご入力ください。送信ボタンを押せば申込み完了！

ステップ③ | 振込先をご案内します

ご登録いただいたメールアドレスへ 観覧料の「振込先口座情報」を返信いたします。期日までにお振込みください。電話申込みは出来ません

お申込み用QR